学校教育目標

次代を見据えた教育活動の創造に努め、本校の恵まれた特色ある自然環境を生かしながら、
すぐれた創造性（知）、豊かな人間性（徳）、たくましい実践力（体）を身に付けた、未来社会の創り手となる子供を育成する

研究主題

「学ぶ力」を磨き合い、未来社会の創り手となる子供の育成

—情報活用能力を学習の基盤とする取り組みを通して—

未来に生きて働く「学ぶ力」

計画する力　比べる力　関わる力

個別最適な学び

◇ 個の追究・自己調整

協働的な学び

◇ 他者との協働・思考の再構築

手立て④ 学習過程への「診断活動」の組み込み

- 診断活動の位置付け
- 学びの見直しと調整

手立て⑤ デジタルとアナログのハイブリッド板書の工夫

- デジタルとアナログの機能分担
- 思考と学習過程の共有、見直し

手立て⑥ 「まとめ」と「振り返り」による学習の整理

- 学習内容の整理
- 振り返りによる自覚化

学びを支える「情報活用能力」

手立て① カリキュラム・マネジメントの工夫

- 毎日の帯時間との連動
- 教科横断による基盤形成

手立て② 系統的指導と効果測定の継続

- 学びの方向性と選択の可視化
- 継続的な効果測定

手立て③ 情報活用の過程を重視した授業構成の工夫

- 情報活用過程の明確化
- 活用力の発揮を支える場面づくり